

# 揺れやすさマップナビ ～あなたの家が安全かどうか確認してみましょう!～

地震の揺れによる建物被害は、揺れの強さだけでなく建物の構造、建築年次によって大きく異なります。この揺れやすさマップナビで、あなたの家が安全かどうか確認しておきましょう。

## Step1

あなたのお住まいの地域を探し、想定される震度を確認しましょう。

- 次のページの地図上であなたのお住まいの地域を探しましょう。
- 何色に着色されていますか？下記の計測震度に○を入れて下さい。

計測震度	5.0～5.4	5.5～5.9	6.0	6.1	6.2	6.3	6.4～
震度階	震度5強	震度6弱	震度6強以上				

あなたのお住まいの地域で想定される震度を確認します。お住まいの地域と同じ色の計測震度に、○印をつけて下さい。  
(例：計測震度6.2)

## Step2

あなたの家の構造、建築年次を確認しましょう。

- あなたの家は木造ですか？木造以外ですか？
- いつ建てましたか？
- あなたの家が該当する線に○を入れて下さい。

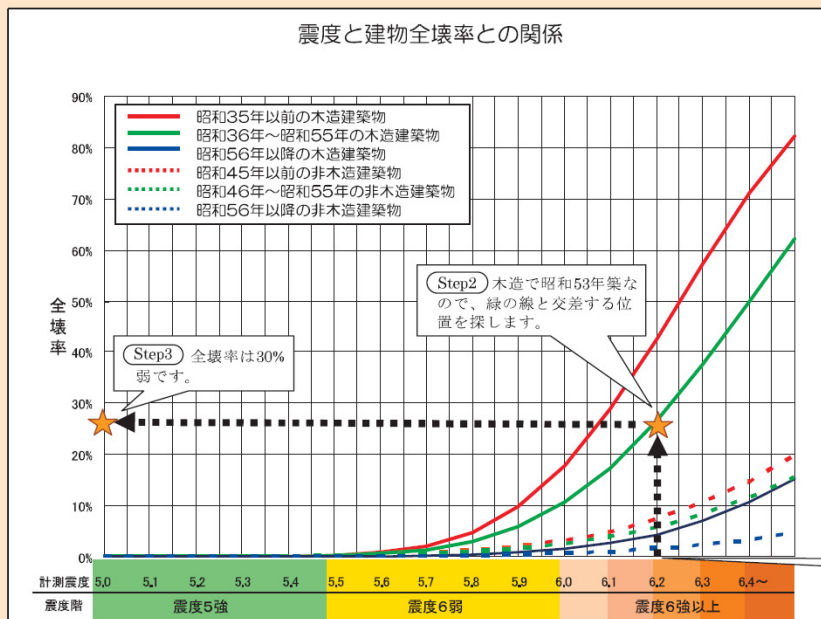
あなたの家の構造と建築年次を確認します。木造の昭和36年～昭和55年の建物の場合、緑の実線に○印をつけて下さい。

		建築年次		
木造建築物	昭和35年以前	赤い実線	緑の実線	青い実線
	昭和36年～昭和55年		緑の実線	
非木造建築物	昭和45年以前	赤い点線	緑の点線	青い点線
	昭和46年～昭和55年		緑の点線	
	昭和56年以降			青い点線

## Step3

下のグラフで地震の揺れと建物の強さの関係を確認しましょう。

- 下のグラフからStep1で調べた計測震度の位置を探します。
  - 調べた計測震度の場所から垂直に線を引き、Step2で調べた線と交差する点を探します。
  - そこから水平に線を引き、左の全壊率の軸と交差する点を探します。
- 全壊率は確認できましたか？ 全壊率 ( ) %



グラフで全壊率を確認します。計測震度6.2と緑の実線が交差する場所を探します。次に、グラフ左側の軸から、全壊率を確認します。

全壊率：約30%弱

※地震防災マップ作成のすすめ(内閣府 平成17年3月)を参考に作成しました。

## Step4

あなたの家が安全かどうか確認できましたか？

あなた自身やあなたの大切な人たちの命を守るためにも、建物の耐震化を進める必要があります。地震対策の第一歩は、わが家の耐震性能を知ることです。大きな地震があってもあなたの家は安全なのか、耐震診断を受けて確かめましょう！そして、安全でない判断された場合は、耐震改修工事を行いましょう。

## Step5

わからないことは、どこに相談したらいいの？

福岡市では、住宅などの耐震診断・耐震改修工事に関する助成制度を実施しています。揺れやすさマップ、耐震診断・耐震改修工事及び各助成制度についての詳しい内容は、福岡市住宅都市局建築物安全推進課(TEL.092-711-4580)まで、おたずね下さい。